

浦幌のウチダザリガニ駆除（2017 年）

円子紳一¹⁾

Shinichi Maruko, 2018. The extermination of *Pacifastacus luniusculus trowbridgii* in Urahoro, eastern Hokkaido, 2017.

Bulletin of the Historical Museum of Urahoro, 18: 15-18.

はじめに

「浦幌の自然を楽しむ会」による浦幌町でのウチダザリガニ駆除は、2015 年から 3 年を経過した。

2017 年 7 月 30 日の「ウチダザリガニバスターズ」には小学生 9 人と保護者 5 人が参加した。北海道ウチダザリガニ防除ネットワークの高橋克巳代表からウチダザリガニの説明を受けオベトン川で捕獲体験、試食を行った。

9 月 4 日には、酪農学園大学野生動物保全技術実習を同川で行い、捕獲と計測体験が行なわれた。9 月 8 日には、浦幌小学校 2 年生 36 人のザリガニ学習にも協力した。

調査・駆除結果

浦幌川での駆除は、昨年の度重なる洪水で川の流れる位置が変わるなどの影響で、カニカゴで 7 月 27 日、8 月 8 日の 2 回しか行えなかった。常室川は夏になって渇水状態となり、常室橋付近では完全に干上がった。

オベトン川（浦幌川支流）では、6 月 4 日～10 月 20 日までの間に 11 回駆除した。たも網で 8 回、カニカゴで 3 回である。カニカゴは今まで設置しなかった深みに設置し、♂ 17 匹、♀ 15 匹を捕獲した。ここでは、たも網にあまり入らない大きな個体が捕獲できた。

抱卵している個体は 6 月 4 日にオベトン川で 1 匹が確認された。抱卵個体は、2015 年 11 月 1 日に 2 匹、2016 年 10 月 18 日に 1 匹が浦幌川で確認されている。ウチダザリガニは抱卵越冬するが、浦幌でも秋（10 月中旬）から初夏（6 月上旬）が抱卵期間と思われる。駆除の内訳は表 1 の通り。

捕獲数の推移

2015 年は 111 匹、2016 年は 200 匹、2017 年は 292 匹と年々増加している（表 2）。捕獲数の増加は、2015 年は初めての駆除でカニカゴのみを使っていたが、2016 年にたも網 7 本と中長ぐつ 3 足、17 年にたも網 5 本と中長ぐつ 5 足を装備して河川での行動域が拡大したことによる。また、2016 年からはウチダザリガニバスターズ、酪農学園大学の野生動物保全技術実習の実施と 2017 年の浦幌小学校 2 年生のザリガニ学習を行ったことが大きな要因となっている。

性別不明の個体も増加しているが、2016 年から使用しているたも網の網目が 3 mm と狭小なことで、判別できない小さな個体が多くなっていることによる。

全長と個体数

全長と個体数の関係をグラフに示したのが図 1 である。2015 年は 80 mm 以上が多く、最大は 120 mm 以上だが、前述の通りカニカゴのみでの捕獲であり、15 mm の網目では小さなものは逃げたと思われる。2016 年と 2017 年はたも網での捕獲が中心となり、捕獲個体は小さなものが増えた。

今後の調査・駆除

2017 年は、オベトン川支流でニホンザリガニの生息が確認された。30 分ほどで 29 匹が確認され、雌雄判別、体長、体重測定後に同じ場所に放流した。

ウチダザリガニとの競合が心配され、今後もウチダザリガニの集中した捕獲が必要と考える。

2016 年は 7 月 17 日以降、2017 年は 6 月 4 日 1 回を除いて 7 月以降の捕獲となった。このことは、

1) 浦幌の自然を楽しむ会 〒089-5634 北海道十勝郡浦幌町字帯富

表1 2017年のウチダザリガニ駆除内訳

回数	月 日	河川名	区 域	性別	頭数	全 長 mm		体 重 g		備 考
						最大	最少	最大	最少	
1	6月4日	オベトン川	茂帯富川との合流点から両上流	♀ 不明 計	1 10 11					抱卵
2	7月1日	同上	同上	♂ 不明 計	2 17 19	105.24 56.06	83.80 17.96	56.36 5.19	22.74 0.15	
3	7月27日	浦幌川	万年橋	♂ 計	2 2	100.05	78.02	70.70	20.13	カニカゴ
4	7月30日	オベトン川	茂帯富川との合流点から両上流	♂ ♀ 不明 計	15 29 29 73	104.15	80.89	86.36	24.77	ウチダザリガニ バスターズ 計測は4匹だけ
5	8月7日	同上	富名沢（仮称）との合流点から上流・富名橋（仮称）	♂ ♀ 不明 計	2 9 3 14	67.73 52.68 15.93	59.68 26.33 10.67	16.95 6.31 0.14	7.49 0.64 0.05	
6	8月8日	浦幌川	郷牧場裏	♂ ♀ 計	1 1 2	90.41 88.36		45.83 37.71		カニカゴ もんどり
		オベトン川	富名橋（仮称）下流の深み	♂ ♀ 計	4 6 10	103.23 100.06	84.86 71.92	75.35 42.91	27.41 21.30	カニカゴ
7	8月18日	同上	同上	♂ ♀ 計	6 6 12	95.48 111.77	83.97 79.74	46.90 57.35	27.89 21.83	カニカゴ
8	9月3日	同上	富名宅下流～国道38号交点	♂ ♀ 不明 計	27 5 21 53	86.35 36.59 22.16	21.71 19.96 12.37	30.34 1.35 0.35	0.28 0.30 0.08	酪農学園大学動物保全技術実習
9	9月8日	同上	茂帯富川との合流点から両上流	♂ ♀ 不明 計	3 11 33 47	83.20 93.04 31.60	69.90 29.77 16.16	25.35 29.16 0.86	18.05 0.73 0.08	浦幌小学校2年生のザリガニ学習
10	10月15日	同上	同上	♂ ♀ 計	8 17 25	67.89 81.45	33.49 29.26	11.31 16.79	1.10 0.70	
11	10月19日	同上	木下林業土場～元木宅近く	♂ ♀ 不明 計	1 2 11 14	67.77 49.89 27.40		10.43 4.03 0.68		
12	10月20日	同上	富名橋（仮称）下流の深み	♂ ♀ 計	7 3 10	105.32 80.37	57.88 67.50	43.24 17.90	7.51 12.34	カニカゴ
合計				♂ ♀ 不明 計	78 90 124 292	105.32 111.77 56.06	21.71 19.96 10.67	86.36 57.35 5.19	0.28 0.30 0.05	

ウチダザリガニの孵化が終わってからの時期と考えられる。

ウチダザリガニの駆除は、雌が抱卵しているときに行なうのが効率的と思われ、孵化する前の雪解け後からの捕獲を行いたい。

会員はそれぞれ仕事に就いていることから、駆除・調査が大きく進められないが、少しずつでも継続して行きたいと考えている。

おわりに

駆除活動の中心となっている「浦幌の自然を楽しむ会」のみなさん、町立博物館の持田誠学芸員、北海道ウチダザリガニ防除ネットワークの高橋克巳代表、齊藤さゆりさん、「ウチダザリガニバスターズ」に参加いただいたみなさん、野生動物保全技術実習を行った酪農学園大学の佐藤喜和教授や学生のみなさんに心から感謝申し上げます。

なお、本調査・駆除経費の多くは、浦幌町の「笑顔輝く地域づくり支援事業」の補助金を得て行われたものである。

参考文献

円子紳一．2016. 浦幌で初めてのウチダザリガニ駆除．浦幌町立博物館紀要．16: 9-13.

円子紳一．2017. 浦幌のウチダザリガニ駆除（2016 年）．浦幌町立博物館紀要．17: 9-11.

表 2 ウチダザリガニの捕獲数の推移

雌雄	2015年	2016年	2017年	計
♂	55	60	78	193
♀	45	103	90	238
不明	11	37	124	172
計	111	200	292	603

全長と個体数

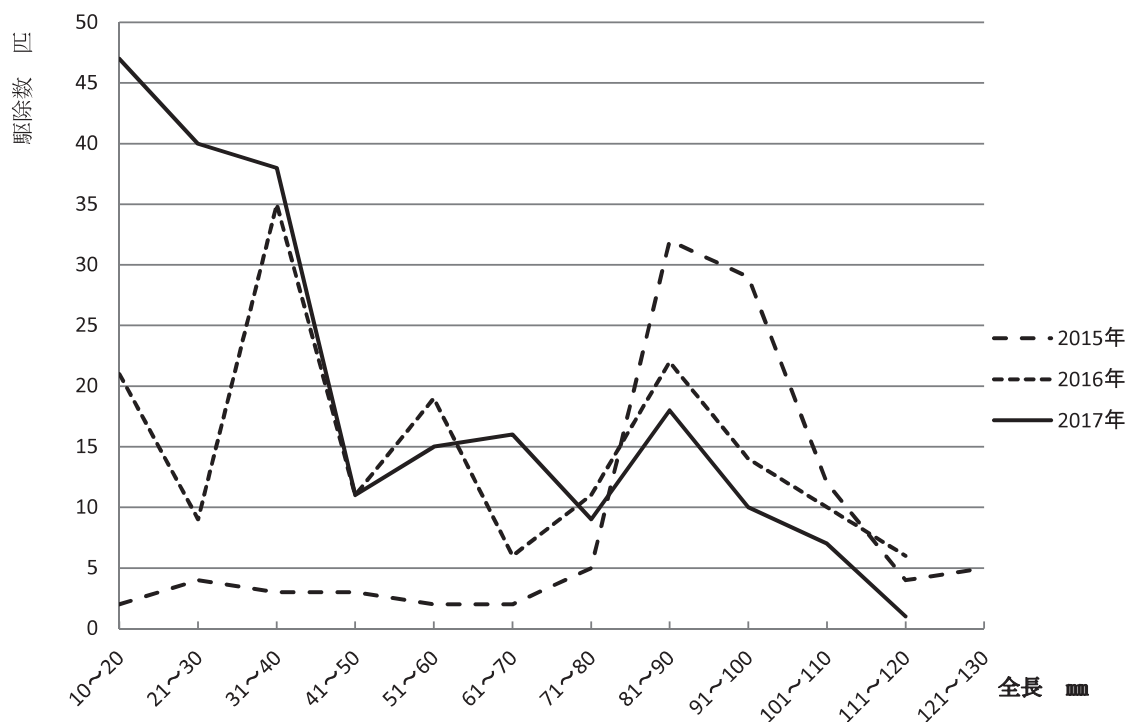


図 1 ウチダザリガニの全長と個体数の関係



図2 ウチダザリガニバスターズで、北海道ウチダザリガニ防除ネットワークの高橋克巳さんの説明を聞くこどもたち



図3 ウチダザリガニバスターズでの捕獲の様子



図4 浦幌小学校2年生のザリガニ学習



図5 酪農学園大学の野生動物保全技術実習



図6 ウチダザリガニバスターズに参加したこどもたちと会員ら